

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	2－1 健康で活力に満ちた社会を創る
施策	2－1－1 健康づくりの推進

指標NO	26
------	----

指標名	日頃、健康づくりに取り組んでいる	単位	%
-----	------------------	----	---

担当局（区）	保健福祉局
--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	60.0	62.5	65.0	✕
現状値	56.2	51.3	－	－	

目標設定 の考え方	市民の健康の保持・増進のためには、市民一人ひとりの主体的な健康づくりの取組みが重要であることから、普及啓発や食生活の改善指導などを推進することとして目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
指標を構成する事業の多くが事業目標を達成しているにも関わらず、「日頃、健康づくりに取り組んでいる」と感じている市民の割合が低下している。この要因として、健康づくりの概念については、回答者の年代や性差、自身の行動の評価についても個人差があることから、事業の成果が現状値の上昇に直接結びつかなかったものと考えられる。 一方で、健康づくりと関連が深い「施策3-2-2 スポーツ・レクリエーション活動の推進」に関する指標「週に1回はスポーツ・レクリエーション活動を行っている」では、現状値が29.1%から29.7%に向上している。
【課題及び今後の取組みの方向性】
現状値の低下要因を分析し、回答者の年代等にあわせた健康づくり行動への支援方法について検討を行い、市民の主体的な健康づくりを支援するため、引き続き健康づくりに関する普及啓発を行う。 また、関係部門や機関との連携により、スポーツやレクリエーションも健康づくりのための行動であることを周知する取組みや個人の手元に届く健康情報の提供方法等の充実を図る。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	新世紀ちば健康プラン次期計画の策定	計画の策定	調査	策定	策定	策定	達成	1,801
2	健康運動対策の推進	ヘルスサポーター養成教室	－	各区 1回/月	各区 1回/月	54回/年	未達成	2,270
3	健康運動対策の推進	運動習慣を身につけるための出前講座	－	12団体/年	12団体/年	33団体/年	達成	
4	特定健康診査の充実	検査項目の追加	－	追加（血清クレアチニン、尿酸） 対象者の拡充（ヘモグロビンA1c）	追加（血清クレアチニン、尿酸） 対象者の拡充（ヘモグロビンA1c）	追加（血清クレアチニン、尿酸） 対象者の拡充（ヘモグロビンA1c）	達成	78,961
5	特定健康診査の充実	訪問指導	－	実施	実施	実施	達成	
6	がん検診の推進	大腸がん検診の無料クーポン券の送付	－	実施	実施	実施	達成	70,248
7	食育推進計画の策定	計画の策定	－	策定	策定	策定	達成	1,683

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	新世紀ちば健康プランの推進	市民健康づくり大会の開催（参加者数）	1,889人	2,000人	2,000人	2,330人	達成	2,023
2	健康教育	講演会、糖尿病教室等（参加者数）	5,408人	6,000人	6,107人	9,960人	達成	15,645
3	食育推進	講座開催、人材養成	271人	養成数30人/年	320人	285人	未達成	17,672
4	がん検診	がん検診の実施（市検査分の受診率）	25.8%	27.3%	27.3%	26.6%	未達成	70,248
5	特定健康診査	実施率	32.5%	39.0%（H26年度）	39.0%	33.1%（見込み）	未達成	1,424,568
6	健康づくりプロジェクト	介護予防事業（参加者数）	145名/年	435名	145名/年	140名/年	概ね達成	2,893

政策評価シート【個票:客観指標】

施策の柱	2－1 健康で活力に満ちた社会を創る
施策	2－1－1 健康づくりの推進

指標NO	27
------	----

指標名	特定健康診査実施率	単位	%
-----	-----------	----	---

指標の説明	国民健康保険被保険者(40歳以上75歳未満)を対象とした特定健康診査の実施率	担当局(区)	保健福祉局
-------	--	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	－	39.0	45.0	H30に 目標値設定	△
現状値	32.5	33.4	－	－	

目標設定 の考え方	疾病リスクの高い者の早期発見や生活習慣病の予防を推進するため、受診勧奨や普及啓発活動の実施などにより実施率の向上を目指すこととして、目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
市政だよりやポスター等による周知に加え、対象者への受診券をがん検診受診券と同時発送してがん検診との同時受診を促すことや、未受診者に対し勧奨はがきを送付するなど、事業周知と受診勧奨に努めているが、目標とする受診率は達成できていない。 「健診への無関心層」は、自らの身体状態を把握して健康を保つことへの意識の低さ、自らの健康への過信、といった背景を持つと考えられるが、これらの層に対し、有効な働きかけができていない。
【課題及び今後の取組みの方向性】
「健診への無関心層」への働きかけに重点を置き、事業周知や受診勧奨の内容を生活習慣病の危険性と健診の大切さを訴えるものとするよう工夫する。それにより、未受診者を受診に導きつつ、毎年の継続受診を促す。 特に、生活習慣病リスクが高まり始める40～50歳代の未受診者については、重点的に電話による勧奨も行う。 また、健診等のデータを分析して、より高い効果が得られる取組みを検討し、実施していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	特定健康診査の充実	検査項目の追加	－	追加(血清クレアチニン、尿酸) 対象者の拡充(ヘモグロビンA1c)	追加(血清クレアチニン、尿酸) 対象者の拡充(ヘモグロビンA1c)	追加(血清クレアチニン、尿酸) 対象者の拡充(ヘモグロビンA1c)	達成	78,961
2	特定健康診査の充実	訪問指導	－	実施	実施	実施	達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	特定健康診査	実施率	32.5%	39.0%(H26年度)	39.0%	33.4	未達成	1,424,568

政策評価シート【個票:客観指標】

施策の柱	2－1 健康で活力に満ちた社会を創る
施策	2－1－1 健康づくりの推進

指標NO	28
------	----

指標名	がん検診受診率	単位	%
-----	---------	----	---

指標の説明	がん検診を受けた市民の割合	担当局（区）	保健福祉局
-------	---------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	41.4	44.0	50.0	◎
現状値	38.7	46.4	－	－	

目標設定 の考え方	がんの早期発見・早期治療を図ることにより、市民の健康寿命の延伸を図るため、検診の受診率の向上を目指すこととして目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
受診率は、目標値に達しなかったものの、クーポン券の送付を行うことで、検診初回受診者は増加しており、一定の効果があったと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
引き続き受診率の向上を図るため、各種集団検診会場において、大腸がん検診の容器等を積極的に配布し、受診促進を行う。また、未受診者に対し再度の受診勧奨を実施する等、個別に通知を行うことで受診率向上を目指す。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	がん検診の推進	大腸がん検診の無料クーポン券の送付	－	実施	実施	実施	達成	70,248

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	がん検診	がん検診の実施(市検査分の受診率)	25.8%	27.3%	27.3%	26.6%	未達成	70,248

政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	2－1 健康で活力に満ちた社会を創る
施策	2－1－1 健康づくりの推進

指標NO	29
------	----

指標名	肥満者の割合（男性）	単位	%
-----	------------	----	---

指標の説明	20歳～60歳代男性の肥満者（BMI25以上）の割合	担当局（区）	保健福祉局
-------	----------------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	－	26.0	25.0	
現状値	28.0	－	－	－	

目標設定 の考え方	健全な食生活や運動習慣に関する普及啓発を行い、肥満者の割合の更なる減少を図ることとして目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】 29年度の「すこやか未来都市ちばプラン」の中間評価に併せて、現状値の把握を行う予定。
【課題及び今後の取組みの方向性】 肥満と生活習慣病の関係や、肥満改善のための適切な食事や運動習慣についての知識の普及啓発を行い、市民が健康的な生活を身につけられるよう引き続き支援する。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	新世紀ちば健康プラン次期計画の策定	計画の策定	調査	策定	策定	策定	達成	1,801
2	健康運動対策の推進	ヘルスサポーター養成教室	－	各区 1回/月	各区 1回/月	54回/年	未達成	2,270
3	健康運動対策の推進	運動習慣を身につけるための出前講座	－	12団体/年	12団体/年	33団体/年	達成	
4	特定健康診査の充実	検査項目の追加	－	追加（血清クレアチニン、尿酸） 対象者の拡充（ヘモグロビンA1c）	追加（血清クレアチニン、尿酸） 対象者の拡充（ヘモグロビンA1c）	追加（血清クレアチニン、尿酸） 対象者の拡充（ヘモグロビンA1c）	達成	78,961
5	特定健康診査の充実	訪問指導	－	実施	実施	実施	達成	
6	食育推進計画の策定	計画の策定	－	策定	策定	策定	達成	1,683

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	新世紀ちば健康プランの推進	市民健康づくり大会の開催（参加者数）	1,889人	2,000人	2,000人	2,330人	達成	2,023
2	健康教育	講演会、糖尿病教室等（参加者数）	5,408人	6,000人	6,107人	9,960人	達成	15,645
3	食育推進	講座開催、人材養成	271人	養成数30人/年	320人	285人	未達成	17,672
4	特定健康診査	実施率	32.5%	39.0%（H26年度）	39.0%	33.1%（見込み）	未達成	1,424,568
5	健康づくりプロジェクト	介護予防事業（参加者数）	145名/年	435名	145名/年	140名/年	概ね達成	2,893

## 政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	2-1 健康で活力に満ちた社会を創る
施策	2-1-1 健康づくりの推進

指標NO	30
------	----

指標名	肥満者の割合(女性)	単位	%
-----	------------	----	---

指標の説明	40歳～60歳代女性の肥満者（BMI25以上）の割合	担当局 （区）	保健福祉局
-------	----------------------------	------------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	—	14.0	13.0	
現状値	15.8	—	—	—	

目標設定の考え方	健全な食生活や運動習慣に関する普及啓発を行い、肥満者の割合の更なる減少を図ることとして目標値を設定した。
----------	--

<p>【達成状況の分析】</p> <p>29年度の「すこやか未来都市ちばプラン」の中間評価に併せて、現状値の把握を行う予定。</p>
<p>【課題及び今後の取組みの方向性】</p> <p>肥満と生活習慣病の関係や、肥満改善のための適切な食事や運動習慣についての知識の普及啓発を行い、市民が健康的な生活を身につけられるよう引き続き支援する。</p>

**指標を構成する事業  
計画事業**

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	新世紀ちば健康プラン次期計画の策定	計画の策定	調査	策定	策定	策定	達成	1,801
2	健康運動対策の推進	ヘルスサポーター養成教室	—	各区 1回/月	各区 1回/月	54回/年	未達成	2,270
3	健康運動対策の推進	運動習慣を身につけるための出前講座	—	12団体/年	12団体/年	33団体/年	達成	
4	特定健康診査の充実	検査項目の追加	—	追加(血清クレアチニン、尿酸) 対象者の拡充(ヘモグロビンA1c)	追加(血清クレアチニン、尿酸) 対象者の拡充(ヘモグロビンA1c)	追加(血清クレアチニン、尿酸) 対象者の拡充(ヘモグロビンA1c)	達成	78,961
5	特定健康診査の充実	訪問指導	—	実施	実施	実施	達成	
6	食育推進計画の策定	計画の策定	—	策定	策定	策定	達成	

## その他事業

その他事業								(千円)
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	新世紀ちば健康プランの推進	市民健康づくり大会の開催(参加者数)	1,889人	2,000人	2,000人	2,330人	達成	2,023
2	健康教育	講演会、糖尿病教室等(参加者数)	5,408人	6,000人	6,107人	9,960人	達成	15,645
3	食育推進	講座開催、人材養成	271人	養成数30人/年	320人	285人	未達成	17,672
4	特定健康診査	実施率	32.5%	39.0%(H26年度)	39.0%	33.1%(見込み)	未達成	1,424,568
5	健康づくりプロジェクト	介護予防事業(参加者数)	145名/年	435名	145名/年	140名/年	概ね達成	2,893




政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	2－1 健康で活力に満ちた社会を創る
施策	2－1－2 医療体制の充実

指標NO	31
------	----

指標名	必要なときに適切な医療を受けられるので安心だと感じる	単位	%
-----	----------------------------	----	---

担当局（区）	保健福祉局 病院局
--------	--------------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	65.7	67.8	70.0	
現状値	63.6	67.5	—	—	

目標設定の考え方	市内医療機関における機能分担・連携の強化や市立病院の経営改革・診療機能強化などにより、必要な医療を必要な人が適切に受けられる医療体制づくりを進めることとして目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
市立病院において診療機能を強化するとともに、各病院、診療所等の医療提供体制の充実強化の取組みが行われた結果、全体として市内の医療提供体制の充実強化が図られたことが目標達成につながったものと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
人口減少や少子超高齢化の進展といった環境変化に対応できるよう、引き続き、市立病院の経営改革を推進するとともに、市内医療機関の機能分担・連携強化を推進し、医療体制の充実に取り組む。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	市立病院設備・医療機器の整備	青葉病院 救急処置棟の整備	基本設計	実施設計、工事	整備完了	青葉病院救急棟整備 未完了 （入札不調等による遅 れのため、平成27年12月 供用開始予定）	未達成	1,186,852
2	市立病院設備・医療機器の整備	海浜病院 リニアックの導入及びリニ アック室・手術室の整備	—	実施設計、工事	整備完了	海浜病院リニアック 整備完了（リニアック 棟：平成26年4月供用開 始）	達 成	
3	海浜病院の再整備	市立病院基本構想	—	策定	策定	未策定	未達成	31,939
4	海浜病院の再整備	海浜病院再整備基本計 画の策定	—	策定	策定	未策定	未達成	
5	ICTを活用した救急業務の推進	ICTシステム整備	モデル事業の実施	画像伝送・受信装置の 設置	運用	休止	休 止	0

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	休日救急診療所管理運営	休日救急診療所の運営	71日/年	71～72日/年	71～72日/年	71～72日/年	達 成	960,086
2	救急医療確保対策	在宅当番医（産婦人科） の確保	35医療機関	35医療機関	35医療機関	35医療機関	達 成	624,328
3	救急医療確保対策	休日及び夜間の二次救 急医療機関の確保	22医療機関	22医療機関	22医療機関	22医療機関	達 成	
4	救急医療確保対策	夜間外科系救急医療体 制（初期・後方支援・非当 番）の確保	21医療機関	21医療機関	21医療機関	21医療機関	達 成	
5	かかりつけ医推進	専用端末による医療機関 情報の提供	13,701件	13,750件/年	13,750件/年	49,480件/年	達 成	7,650
6	かかりつけ医推進	ポスター、チラシの配布	—	ポスター 1,100部/年、 チラシ 5,000部/年	ポスター 1,100部/年、 チラシ 5,000部/年	なし	未達成	
7	夜間救急初期診療	夜間救急初期診療の運 営	365日/年	365日/年	365日/年	365日/年	達 成	0

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	2－1 健康で活力に満ちた社会を創る
施策	2－1－2 医療体制の充実

指標NO	32
------	----

指標名	かかりつけ医を持っている	単位	%
-----	--------------	----	---

担当局（区）	保健福祉局
--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	66.1	68.0	70.0	×
現状値	64.2	64.0	－	－	

目標設定 の考え方	市内医療機関の機能分担を進めるため、身近で適切な医療を受けられる「かかりつけ医」を推進することとして目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
かかりつけ医を普及するため、市民に対して診療所の情報提供やかかりつけ医を持つ大切さについての啓発活動を行ったが、市民の意識や受療行動を変えるに至らず、目標達成ができなかったものと考えられる。 なお、当初計画では、チラシ・ポスターの作成により、かかりつけ医推進に関する周知を予定していたが、その後の検討の結果、平成24年度にかかりつけ医推進に関するチラシ(1,000部)を地域医療に関するシンポジウム(平成25年1月～2月)で配布したほか、市政だよりにおける記事の掲載(平成24年度・25年度)及び千葉市ホームページへの記事の掲載による周知を行うこととした。市民の意識、行動の変化が起きなかった要因としてこれらのPRが伝わらなかったことが考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
引き続き、身近な医療機関である診療所の情報提供を行うとともに、かかりつけ医を持つ大切さについて、市政だよりや市ホームページを活用した周知のほか、リーフレットを作成・配布し、周知を行うとともに、地域包括ケアシステムの構築を進める中で、医療機関相互の連携促進などの取組みについても並行して進める。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	かかりつけ医推進	専用端末による医療機関情報の提供	13,701件	13,750件/年	13,750件/年	49,480件/年	達成	7,650
2	かかりつけ医推進	ポスター、チラシの配布	—	ポスター 1,100部/年、 チラシ 5,000部/年	ポスター 1,100部/年、 チラシ 5,000部/年	なし	未達成	

政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	2－1 健康で活力に満ちた社会を創る
施策	2－1－2 医療体制の充実

指標NO	33
------	----

指標名	入院が必要な患者の積極的な受入れ（両市立病院の新規入院患者数）	単位	人
-----	---------------------------------	----	---

指標の説明	両市立病院の一般病床に新規に入院した患者数	担当局（区）	病院局
-------	-----------------------	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	15,871	21,472	平成30年度に目標値設定	△
現状値	13,607	14,515	－	－	

目標設定の考え方	入院が必要な患者の積極的な受入れを図るため、市立病院における、診療の専門特化や医師や看護師等医療従事者の増員などを通じ、入院患者の受入体制を強化することとして目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
医療体制の充実を図るため、両市立病院において、入院が必要な患者の積極的な受け入れを実施しているが、平成24年度に、看護職員不足により青葉病院の病床を一部集約したことなどから、新規入院患者数について、平成26年度末は目標値の15,871人に到達しなかった。
【課題及び今後の取組みの方向性】
看護職員の確保が課題であったため、採用活動の強化に努めた結果、H26年度の採用試験では、目標とする看護師を確保することができた。引き続き、採用活動の強化に努めるほか、3交替と2交替の選択制勤務を実施し、ワークライフバランスを推進するなど、離職防止の取組みを推進する。なお、上記の取組みにより、青葉病院の一部休止病床の利用が、平成26年10月から部分的に再開し、さらに平成27年7月から全面稼働となる。また、市立病院へ就職する意思のある看護師等養成施設の学生に対する看護師等修学資金貸与制度を通じて、看護師等の確保に努めるほか、地域医療機関との連携を強化し、紹介患者数の増加を図る。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	市立病院設備・医療機器の整備	青葉病院 救急処置棟の整備	基本設計	実施設計、工事	整備完了	青葉病院救急棟整備 未完了 （入札不調等による遅れのため、平成27年12月供用開始予定）  海浜病院リニアック 整備完了（リニアック棟：平成26年4月供用開始）	未達成	1,186,852
2	市立病院設備・医療機器の整備	海浜病院 リニアックの導入及びリニアック室・手術室の整備	—	実施設計、工事	整備完了	海浜病院リニアック 整備完了（リニアック棟：平成26年4月供用開始）	達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	7対1看護配置の実施	看護師採用活動強化 離職防止対策	未取得	看護師採用活動	施設基準の取得完了	施設基準の取得完了（青葉 平成25年度取得 海浜 平成24年度取得）	達成	0
2	DPC(診断群分類)包括評価支払の導入	・市立青葉病院 導入済み ・市立海浜病院 未導入	・導入 ・—	・導入 ・導入	・導入 ・導入	青葉病院 導入済（H21.4～） 海浜病院 導入済（H26.4～）	達成	0



政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	2－1 健康で活力に満ちた社会を創る
施策	2－1－2 医療体制の充実

指標NO	34
------	----

指標名	夜急診における軽度の患者の割合	単位	%
-----	-----------------	----	---

指標の説明	海浜病院内の夜急診を受診した患者の疾病重症度の分類（重度、中程度、軽度）のうち、軽度だった患者の割合	担当局（区）	保健福祉局
-------	--	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	47.3	45.4	43.5	✕
現状値	49.1	49.5	—	—	

目標設定の考え方	夜急診における軽度患者の割合が高いことから、真に受診する必要のある患者への診療を確保できるよう適切な利用を促進することとして目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】 夜急診の適正利用に関する普及啓発を行ってきたが、夜急診をはじめとする救急医療の趣旨、目的についての意識啓発が不十分であり、指標の改善に至らなかった。 なお、当初計画では、チラシ・ポスターの作成により、かかりつけ医推進に関する周知を予定していたが、その後の検討の結果、平成24年度にかかりつけ医推進に関するチラシ（1,000部）を地域医療に関するシンポジウム（平成25年1月～2月）で配布したほか、市政だよりにおける記事の掲載（平成24年度・25年度）及び千葉市ホームページへの記事の掲載により周知を行うこととした。指標が改善しなかった要因としてこれらのPRが伝わらなかったことが考えられる。
救急医療の趣旨について、市政だよりや市ホームページによる周知を行うとともに、かかりつけ医に関するリーフレットの作成・配布による周知を行い、適切な医療の利用について意識啓発を進める。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	救急医療確保対策	在宅当番医（産婦人科）の確保	35医療機関	35医療機関	35医療機関	35医療機関	達成	624,328
2	救急医療確保対策	休日及び夜間の二次救急医療機関の確保	22医療機関	22医療機関	22医療機関	22医療機関	達成	
3	救急医療確保対策	夜間外科系救急医療体制（初期・後方支援・非当番）の確保	21医療機関	21医療機関	21医療機関	21医療機関	達成	
4	かかりつけ医推進	専用端末による医療機関情報の提供	13,701件	13,750件/年	13,750件/年	49,480件/年	達成	7,650
5	かかりつけ医推進	ポスター、チラシの配布	—	ポスター 1,100部/年、 チラシ 5,000部/年	ポスター 1,100部/年、 チラシ 5,000部/年	なし	未達成	


政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	2－1 健康で活力に満ちた社会を創る
施策	2－1－3 食の安全と環境衛生の推進

指標NO	35
------	----

指標名	安全な食品が手に入るので安心だと感じる	単位	%
-----	---------------------	----	---

担当局（区）	保健福祉局
--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	53	56.5	60	
現状値	49.7	57.2	－	－	

目標設定 の考え方	食の安全の確保は、市民の安全・安心において極めて重要であることから、監視指導や試験検査、市民への情報提供を推進することとして目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
毎年度策定する千葉市食品衛生監視指導計画に基づく監視指導や試験検査を実施しており、また、市政だより及び市ホームページにより食の安全性に関する情報提供を随時行っている。 前述の食品衛生監視指導計画の実施結果や市内に流通する食品の放射性物質の検査結果などを速やかに市ホームページで公表することにより、市民が食の安全性に関する最新の情報に触れることが出来るため、評価が上がったと推測される。
【課題及び今後の取組みの方向性】
引き続き、食の安全性に関する問題を踏まえ、監視指導計画を策定・実施し、その結果を情報提供する。 また、市内に流通する食品の放射性物質の検査を継続し、食の安全性確保に努める。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	食中毒対策の推進	食中毒予防に関する啓発 講習会の開催	65回／年	35回／年 増	100回／年	112回	達成	0

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	食品衛生（監視指導）	監視指導	許可施設 10,326件 許可不要施設 13,199件	許可施設 約28,000件 許可不要施設 約33,417件	許可施設 約10,000件 許可不要施設 約13,000件	許可施設 11,669件 許可不要施設 14,585件	達成	34,383
2	食品衛生（食品の検査）	試験検査	669検体	約2,000検体	約670検体	555検体	概ね達成	
3	食品衛生（食品の検査）	放射性物質検査	308検体	約750検体	約250検体	250検体	達成	